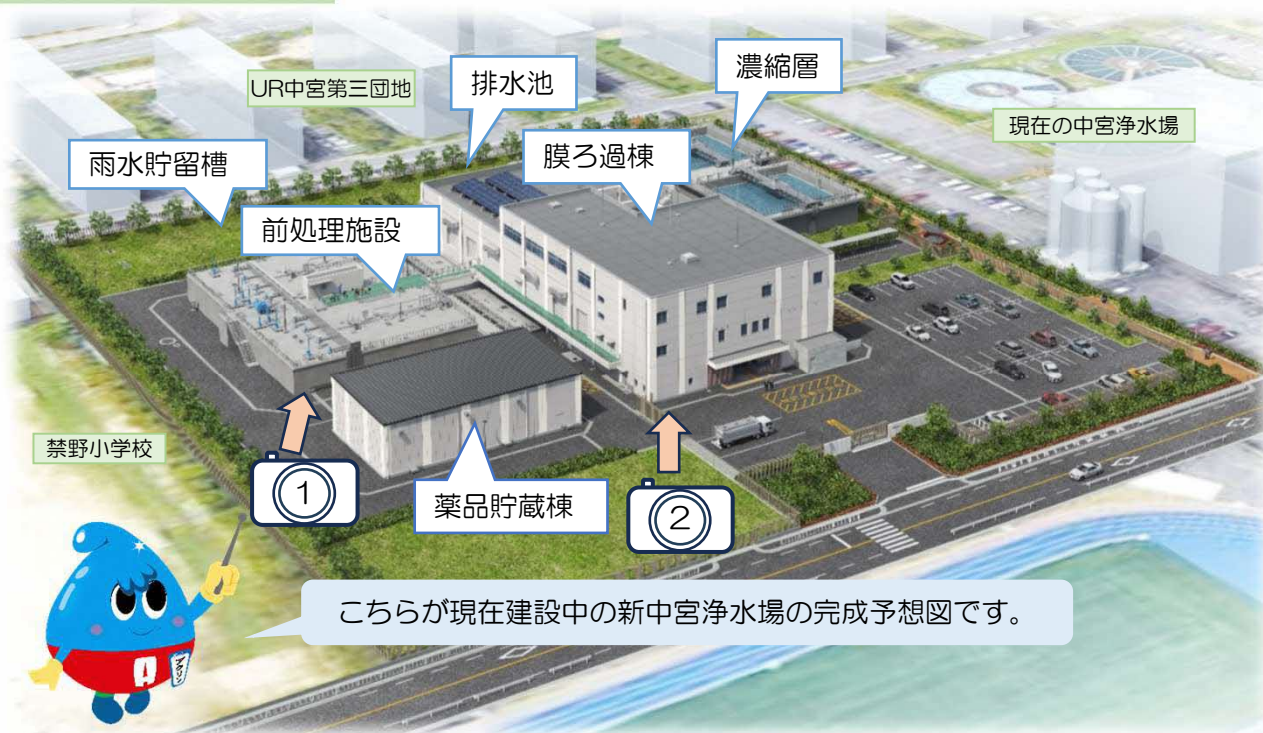


みなさまこんにちは。今回は現地のようなすとリニューアルを行った枚方市上下水道局のホームページ、さらによくあるお問い合わせについてご説明します。

## 1. 現地のようなすと

### 新中宮浄水場 全体完成図



### 工事のようす

現在、前処理施設の足場解体が完了し建物の全貌が見えてきました。

続いて膜ろ過棟も最上階までの躯体ができてきました。足場については外壁の塗装が終わり次第、順次外していきます。これからは建物内部の仕上や設備工事へと移っていきます。



—前処理施設—  
(全体完成図 写真①)



—膜ろ過棟—  
(全体完成図 写真②)



—膜ろ過棟 1F 配管室—



—膜ろ過棟地下1F ポンプ室—

はいすいち  
排水池 完成しました

先日できあがりしました排水池のご紹介です。

第4号でご紹介しましたが、排水池は浄水の処理工程で発生した「汚れを含んだ水（汚泥水）」  
を処理するための施設です。処理工程の中で発生した汚泥水をおでいすい排水池に溜め、汚泥と大きな汚れが  
除去された水とに分離させます。大きな汚れが除去された水はもう一度処理工程に戻し再利用しま  
す。

容量は約1,300m<sup>3</sup>で小学校にある25mプール約3.6杯分に相当するほどの大きな池です。

下の写真は出来上がった配水池内部の様子です。内部の壁や床面が水色なのは「防食塗装」を施  
しているからです。コンクリートを守る保護膜を作ることで施設を長持ちさせ、将来にわたって安全  
に使えるようにしています。



無駄な水が出ないよう  
に処理工程内で循環さ  
せるよ



薬品貯蔵棟の地盤改良が始まりました。先日キャリブレーションに立ち合いました。

キャリブレーションとは施工機器が計画の仕様となっているか、また施工管理機器が正確な作動を行っているかを確認する作業の事です。現場で使用する各部分の寸法の確認を行ったり、回転させながら土と改良材を均一に混ぜる機器の回転数や上下方向の作動の速度について確認しました。確実な品質と施工をするための重要な作業になります。



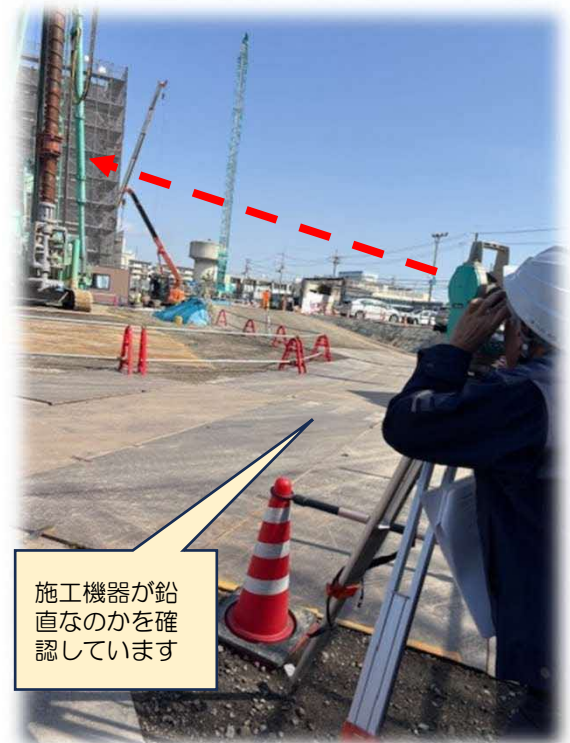
施工機器の形状が計画の形状なのか計測しています



施工管理機器が表示する量と実際に水を吐出させた量が合っているかを確認しています



比重計で固化材と水が正確に全量投入されているか確認しています



施工機器が鉛直なのかを確認しています



キャリブレーションが無事に終わり試験杭も打つことができました

薬品貯蔵棟も工事が始まるんだね  
ワクワクするね！



## 2. ここでひと息

Q：枚方の水道は、いつ頃から使われるようになったのですか？

A：昭和8年（1933年）10月、天野川の伏流水を水源として始めました。

それ以前は井戸水を利用していましたが、衛生面や枯渇（こかつ）の問題がありました。当時は、旧枚方町全域と蹉跎（さだ）村の一部のみが給水区域で一日最大給水量は1,680㎡でした。戦後になり、給水能力の不足を補うため、旧陸軍の水道施設であった磯島取水場と中宮浄水場を引き継ぐなどして規模を拡大し、昭和43年には枚方市全域へと広がりました。

現在の計画一日最大給水量は206,800㎡（自己水127,400㎡、企業団水79,400㎡）にのぼり、開始当時の120倍以上の水を安定して供給できるようになっています。



岡新町には水道発祥石碑もあるよ。



中宮浄水場更新用地 令和8年4月2日撮影

### 次号（第16号）のお知らせ

次号の発行は8月ごろを予定しています

掲載記事は以下のとおりです

- ・現地のような
- ・よくあるお問い合わせなど

※内容は予告なく変更になる可能性があります



新しいHPをご覧ください  
タップでも開きます

### 編集後記

今回は、今年度の人事異動により浄水課から離れることになりましたメンバーの最後のメッセージをご紹介します。

この中宮浄水場通信の担当になり1年が経過しましたが、この春から別の部署への異動が決まりました。

機械設備の工事が本格的に開始する前での異動となり残念な気持ちでいっぱいです。引き続き新しい担当がみなさまに完成へと近づいていく浄水場の様子をお届けしていきます。これからは私も読者目線で、この中宮浄水場通信の更新を楽しみにしたいと思います。短い間でしたが、ありがとうございました。新中宮浄水場が無事に完成し、市民のみなさまに美味しい水道水をお届けできることを祈っています。 [F. K]

Fさん、今までありがとうございました。新しい職場でもますますのご活躍をお祈りしています！